

檜山地区 教育研究大会（乙部大会）

1 目的 先行きが不透明な中においても、教育のさらなる充実、発展と新たな課題の解明に向け、各学校で積み上げた実践を交流し、互いに磨き合うとともに、学習指導要領の実施に係る的確な対応等、学校教育を取り巻く今日的な諸課題にも積極的に目を向け、校長としての職能向上を図る。

2 主催 檜山校長会

3 後援 北海道教育庁檜山教育局・乙部町・檜山管内教育委員会連絡協議会
檜山管内各町教育委員会

4 期日 令和4年10月7日（金）・8日（土）

5 会場 乙部町（乙部町公民館）

6 参加者 檜山校長会員他（37名）

7 日程

【1日目】 9時30分 開会式
10時15分 講話（檜山教育局長）
11時15分 分科会
（第1「学校経営」第2「教育課程」第3「生徒指導」）

14時50分 全連小提言発表

15時30分 全体会（道小・道中役員による教育情勢報告等）

【2日目】 9時00分 学校別部会（今日的教育課題に係る協議）
（1）小学校部会（働き方改革・ヤングケアラー・不登校等に関する情報交流、研究協議）
（2）中学校部会（道立高校入学者選抜の変更・休日部活動の地域移行等に関する情報交流、研究協議）

11時10分 閉会式

8 学校経営上の課題別分科会

3つの学校経営上の課題別提言による研究協議を分科会形式で実施した。

○第1分科会 学校経営

「キャリア教育推進に向けた学校経営と校長の在り方」

提言者：厚沢部町立鶉小学校長 安田 善紀

厚沢部町校長会として、組織マネジメント・キャリア教育推進に係り、体験的学習の充実と自己実現力の育成、小中9年間の一貫したキャリア教育の推進をどう図っていくか、取組の概要や成果・課題についての提言をもとに意見交流を行った。要点として、校長は学校の教育目標達成のために学校経営方針でミッションとビジョンを明確にすること、キャリア教育を推進するために地域・関係団体とのパイプ役を担うことなどが重要である。今後は限られた人材で効率的・効果的に教育活動を進める組織マネジメントの改善・工夫の重要性について認識を深めた。

○第2分科会 教育課程

「奥尻町の特色を生かした創意工夫ある教育課程と校長の在り方」

提言者：奥尻町立奥尻中学校長 岡 健

奥尻町校長会として、地域資源や人材の活用を基盤にした特色ある教育活動と創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善をどう図っていくか、取組の概要や成果・課題についての提言をもとに意見交流を行った。要点として、保護者や地域住民の思いを大切にした教育活動とすること、カリキュラム・マネジメントの視点から教科等横断的な要素を教育課程に位置付けることが重要である。今後は持続可能な組織にするための体制づくりや9年間を見通した計画に再構成することの重要性について認識を深めた。

○第3分科会 生徒指導

「児童生徒理解に基づき学校全体で進める生徒指導と校長の在り方」

提言者：今金町立種川小学校長 黒川 貴 功

今金町校長会として、いじめや不登校問題等に組織的に対応する生徒指導の充実に係り、町内小小・小中連携のこれまでの取組の概要と成果・課題についての提言をもとに、小小・小中連携や不登校に係る各校の実態について交流した。要点として、生徒指導に係る小小連携・小中連携を強化すること、不登校についても学校間で連携して対応することが重要である。今後はこれまで各地区で行ってきた交流の視点や目的を明らかにし、いじめや不登校については関係機関との連携や危機感を持った対応をとることの重要性について認識を深めた。

9 全連小提言発表

10月14日に開催される第74回全国連合小学校長会研究協議会島根大会で発表を予定していた提言について全体で交流

研究課題 命を守る安全教育・防災教育の推進

視点① 自ら判断し行動できる子どもを育てる安全教育・防災教育の推進

提言題 経験を繋ぎ実践力を高める防災教育・安全教育の推進と校長の在り方

提言者 江差町立江差北小学校長 関田 貴人

10 道小・道中教育情勢報告

今年度半期における国及び道教委の教育行政情報について、道小・道中役員による説明・報告を通して、今後の教育の動向等についての理解・認識を深めた。

北海道小学校長会事務局次長 松村 隆志 氏

北海道小学校長会情報部幹事 佐々木 雅哉 氏

北海道中学校長会研修部幹事 田丸 明史 氏

主な説明情報

- (1) 道小・道中学校長会の活動紹介（総会・研修会・理事研修会・全道会長研ほか）
- (2) 教育情報に関わって（GIGA・デジタル教科書・働き方改革・生徒指導提要ほか）
- (3) 質問事項に関わって（働き方改革・中学校部活動改革の北海道の進行状況）

11 学校別部会

(1) 小学校部会

今日的な教育課題について、働き方改革（教頭の負担軽減）、ヤングケアラー・不登校（児童の安全安心な学校生活が保障できない状況）を視点に交流した。

① 働き方改革について

町教委との連携の仕方、保護者・地域への情報提供、業務分担、働きやすい職場づくり、勤務時間管理、教育課程の工夫について等。

② ヤングケアラー・不登校について

ヤングケアラーの見極め、関係機関との連携、SSWの必要性、受入機関の充実について等。

(2) 中学校部会

今日的な教育課題について、道立高校入学者選抜の変更（管内中学校の対応について）、休日部活動の地域移行（最新情勢や管内・各町状況の交流）、働き方改革、ICT活用、特別支援教育を視点に交流した。

① 道立高校入学者選抜の変更について

手続きの変更点、檜山の対応確認、本人と保護者の意思決定、各校の状況把握について等。

② 休日部活動の地域移行について

檜山部活動在籍人数一覧・部活動の地域移行に関する記事の情報提供、地域移行の進め方、ケガへの対応や過疎地域の課題について等。

③ 学校間交流

働き方改革推進、学習e-ポータル導入について等。